

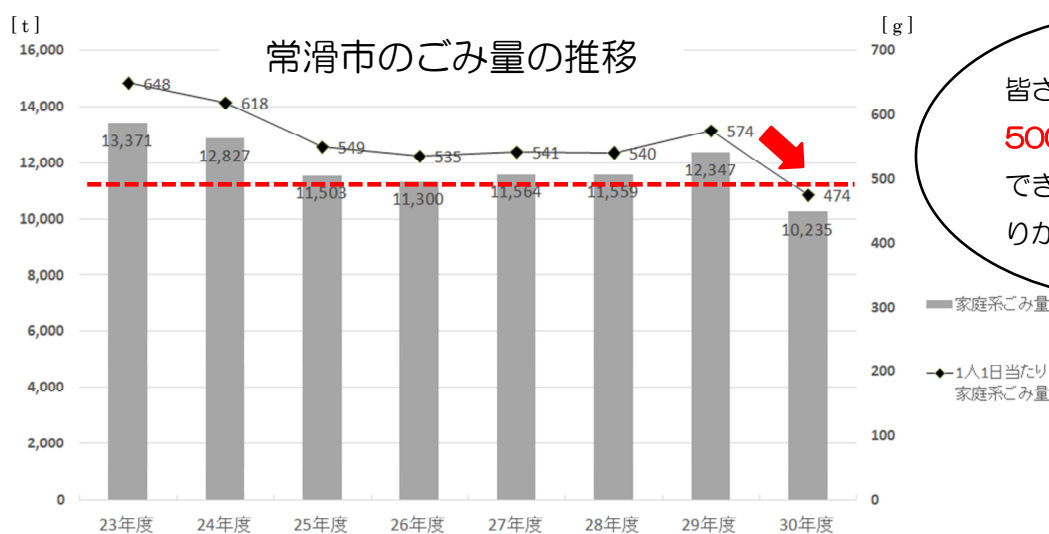
～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～

4R通信（第26号）

『リフューズ^{断る} リデュース^{減らす} リユース^{繰り返し使う} リサイクル^{資源化する}』

1人1日当たりの家庭ごみ排出量500g以下を達成！

平成30年度1人1日当たりの家庭ごみ排出量は、「**474グラム**」となり、「常滑市ごみ処理基本計画」で目標としている「500グラム」を下回る結果となりました！



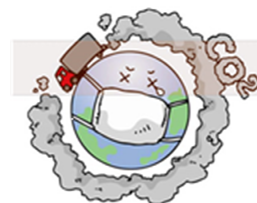
皆さんの協力により
500gを下回ることが
できました！ご協力あ
りがとうございます！



なんでやるの？ごみ減量！？ ごみ減量を行うメリットを思い出してみましょう！

①環境保全につながる

例えば、もえるごみを処分する場合、焼却場で燃やすのが一般的です。ごみを燃やせば当然二酸化炭素が発生するので、地球温暖化が促進されます。地球温暖化対策のためにもごみを減量しましょう！



②お金が節約できる

ごみを処分するには、**集める→運ぶ→燃やす→灰を処分する**という工程があり、すべてにお金がかかります！処分するごみが減るとお金も節約できるのです！



「4R とこなめ チャレンジ500」気が付けば わたしが主役 ごみ減量

常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量**500g**を目標としています。

生ごみ減容機器を購入したけど、現在使用していない方、使い方でお困りの方はお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115

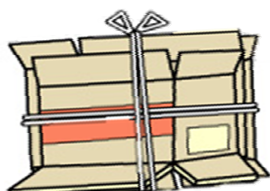
資源物（紙類）の出し方のおさらい

常滑市ではもえないごみ及び資源物の回収を月2回を行っております。また、資源回収ステーションでも常時回収を行っております。そこで今回は紙類の資源物を出すときのルールをおさらいしていきます。



新聞紙・折込みチラシ

新聞紙はひもでしばって出してください。折込みチラシは分ける必要はありません。一緒にひもでしばってください。ひもはビニールでも紙ひもで問題ありません。



ダンボール

開いてもらいひもでしばって出してください。ホッチキスやガムテープはついたままで構いません。ガムテープでグルグル巻きにして出すのはおやめください。



雑誌・本

ひもでしばって出してください。パンフレットなども一緒に挟んでいただいても構いません。



布類

服はもえるごみでなく、ひもでしばって出してください。そのまま服としてリサイクルはいたしませんので、ボロボロでもOKです！ボタンやファスナーは付いたままでもOKです。綿が入っている物やダウンジャケットなどはもえるごみで出してください。



紙パック

紙パックは洗って、開いて、乾かしてひもでしばって出してください。紙パックは6枚でトイレットペーパー1個に生まれ変わる、優秀な資源物です。



その他紙類

平成30年4月から新たに加わった分類です！マークが付いた紙だけでなく、金属がついた紙やビニールの付いた紙もまとめて透明・半透明の袋か紙袋に入れて出してください。すべてトイレットペーパーに生まれ変わります。油で汚れた紙、使用済みティッシュ、匂いの強い紙以外ならOKです！